

ウィスコンシン千葉委員会の宮崎久・文子夫妻、州知事から表彰

マディソン市在住の宮崎久・文子夫妻は、ウィスコンシン州と千葉県との懸け橋となり、使節団の派遣・受け入れプログラムにも深くかかわるなど、長年にわたり民間人として両県州の様々な交流を支え、1998年にはウィスコンシン千葉委員会の理事に選出されました。

ウォーカー スコット知事は、夫妻のこれまでの支援活動と功績をたたえ、昨年9月に宮崎夫妻を表彰しました。



← 宮崎夫妻に贈られた州政府の公式文書

“女性のつばさ 2010”の団員に随行する
宮崎久氏（中央）と文子夫人（左端）→



【訳文】

ウイソコンシン州知事室発表 公式布告書

宮崎久氏及び文子夫人は、長年にわたり日本国千葉県とウイソコンシン州との文化交流事業を陰ながら援助し指導してまいりました。

1990年にウイソコンシン州にてボランティアによって組織されたウイソコンシン州と千葉県との姉妹交流団体「ウイソコンシン千葉委員会」は、教育、文化、科学、及び技術等の分野で交流を促進する事により、千葉県民とウイソコンシン州民との友情と相互理解の強い絆をつくる事ができました。

宮崎久氏と文子夫人は、1998年以来ウイソコンシン千葉委員会の理事に選出され指導的役割を果たしてまいりました。

宮崎夫妻の指導力のおかげで終生にわたるであろう国際間の友情や事業のつながりが多岐にわたり実を結んでまいりました。

1999年以来、宮崎夫妻はウイソコンシン州の女性のつばさのプログラムを立ち上げて千葉県に女性の代表団を送り出しており、派遣団のために千葉県とウイソコンシン州におけるホスト間の連絡係として活躍されております。

以上の実績に鑑みて、2011年9月24日を私、ウォーカー スコットはウイソコンシン州の知事として、**宮崎久・文子夫妻の日**として宣言し、ウイソコンシン州民一同でこの日を祝うことを布告いたします。

私はここに公式に宣言しウイソコンシン州の公印を押します

2011年9月21日

ウォーカー スコット (州知事)

証人 ラ ホレット ダグラス (内務長官)